

第2回函館市食育計画策定推進委員会 論点整理

資料4

	発信委員	内容	事務局	修正案
1	吉田洋久委員 (函館市亀田農業協同組合)	意見要望はありませんが高齢化による農業者の減少、農業の担い手不足が当農協でも大きな問題となっています。食育により、広く農業に興味を持って頂くことも将来的な農業の担い手対策の一つとして考えております。		修正なし
2		コラムが項目も多く、充実していて良いと思います。全般的に意識としてとても分かりやすい文面と感じました。		修正なし
3	木下あやこ委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P30(12)食品ロスについて(P44資料3の基本理念も)具体的な削減方法を学校、家庭で学ぶことにより(環境問題や世界の食糧事情など)より幅広く生きてゆくために大切なことを考えるきっかけになればと思います。</li> <li>・だしをとることは大切なことですが、だしなしでも手軽にみそ汁を作ったり一汁一菜の簡単調理をコラム等でご紹介してもと思います。家族の誰もがごはんを作れる自信を持てるようになるといいなと感じ(願って)ています。</li> </ul>	<p>簡単レシピの周知啓発につきましては、市ホームページやSNS等を活用し、市民へ情報提供する事業を次年度実施していきたいと考えております。</p>	修正なし
4	沢田紀之委員 (函館市小学校長会)	指標④「朝食を毎日食べる子どもの割合」について、北海道教育推進計画(2018-2022)においては目標値が100%となっていますが、今回の目標設定の仕方では支障はないでしょうか。	<p>今回の目標値は、達成する可能性は比較的低いものの、達成を目指して努力することを目標とした「努力目標」ではなく、達成すべき水準として設定される目標の「達成目標」で設定いたしました。</p>	修正なし
5	佐々木和子委員 (函館保育協会)	次年度より新型コロナウイルス渦で生まれた感染防止を防ぐための「新しい生活様式」を取り入れた食育推進計画の見直しが必要かと思っております。	<p>計画は、理念や基本目標を掲げ方向性や取り組み等を示すものであり、新型コロナウイルス感染予防対策等につきましては、行政としましても周知啓発を図るとともに、関係団体を含め各事業ごとに対策を徹底しながら取り組んで頂きたいと考えております。</p>	修正なし
6	東清美委員 (一般社団法人 北海道歯科衛生士会函館支部)	イベント開催では、多世代の交流が出来るような企画をして欲しいと思っています。行政、教育機関、企業、NPO法人など、横の繋がりを強め各団体の強みを活かせるようなイベントの企画を合わせてお願いしたいです。		修正なし